

きかんぼねずみの クリスマス

文・いまむらあしこ
絵・こいずみるみこ



きかんぼねずみの クリスマス

文・いまむらあしこ
絵・こいずみるみこ



女子パウロ会



「わーい、クリスマスだ！
ほく、プレゼントが もらえるぞ！」
うれしくて たまらなくなって、きかんほねずみは、
なんども なんども、とびはねました。



「ほうや、サンタさんはね、
いい子の ところにしか こないのよ。
……わるい子の ところには、
こわい こわい、ねこが くるのよ」
かあさんが いいます。すると、
きかんぼねずみは、しーんと しずかに になりました。

「いい子には、サンタクロース。
……わるい子には、こわい ねこ」
きかんほねずみは、しょんぼりと
ちっちな こえで、いってみました。
すると、なんだか きゅうに、まどの そとが、きになりました。
まど いっぱいに、おおきな ねこが、
じーっと こちらを、みているような きがします。



「ね、とうさん。……ほく、いい子？」
しんばいそうに きかんほねずみが たずねると、
とうさんが こたえます。



「さあて。……どうだろうかね。
おまえは、たいていは いい子だけれども、
ときどき、うんと わるい子になるからね」
きかんほねずみは、しかたなしに、こっくりと うなずきました。
すると また、なんだか、まどの そとが、きになりました。
ちょっとの あいだだけ、サンタさんが そこに いて、
じーっと こちらを、みていたような きがしたのです。

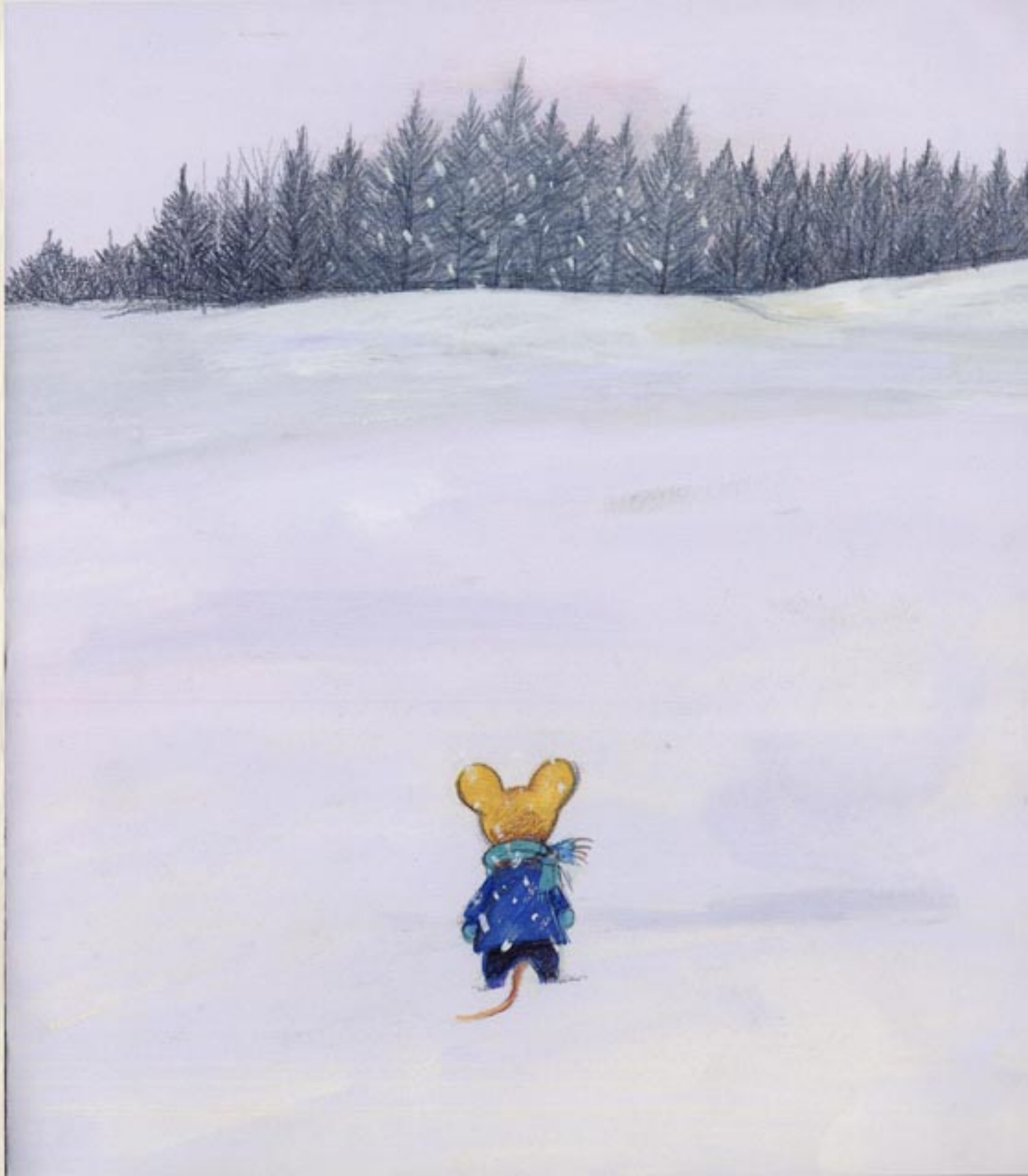
「ほく、いい子かな？ それとも わるい子？
ね、ほくに くるのは、どっち？
サンタさん？ それとも、こわい ねこ？」
きかんぼねずみは くたびれるほど、なんども なんども、
かんがえました。そして とうとう、
くたびれはてて、ねむったのです。
きかんぼねずみは、やさしい サンタクロースの、
ゆめを みました。あんなに としを とるまで、
せかいじゅうに プレゼントを とどけて、
だれからも プレゼントを もらわなかった、
サンタクロースの ゆめを みました。





つぎの日、

きかんほねずみは、かんがえぶかそうな かおをして、
ひとりで オーバーを きて、てぶくろを はめ、
ながぐつを はいて、ゆきの なかに、でてゆきました。
ポケットには、おてつだいをして ためた、
だいじな おかねが はいっています。
おかの むこうの おみせまで、
おいしい チョコレートを、かいに ゆくのです。
おみせまでの みちは、とおい みちです。
むねまで うまる、ふかい ふかい、ゆきの みちです。





みちは とおくて、
ゆきは まだまだ、ふりつづきます。
わるい ねこが、そーっと
つけてくるような きがします。